

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年7月29日

上場会社名 株式会社 大光銀行
 コード番号 8537 URL <http://www.taikobank.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 中島 富雄
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役金融財務部長 (氏名) 岩崎 道雄
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月14日 特定取引勘定設置の有無 無

上場取引所 東

TEL 0258-36-4111

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	7,746	—	1,444	—	985	—
20年3月期第1四半期	6,697	2.2	1,638	273.2	1,200	476.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	9.88	—
20年3月期第1四半期	12.04	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	1,242,985	56,944	4.5	569.10
20年3月期	1,250,022	56,945	4.5	569.05

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 56,714百万円 20年3月期 56,711百万円

(注)「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末少数株主持分)を期末資産の部の合計で除して算出しております。

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	2.50	—	3.00	5.50
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	2.50	—	2.50	5.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	13,680	0.7	2,150	△27.5	1,450	9.5	14.54
通期	27,120	0.5	3,280	△18.7	2,080	△5.8	20.86

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1)期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

[(注)詳細は、3頁【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]

(3)四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等)の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

[(注)詳細は、3頁【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]

(4)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 100,014,000株 20年3月期 100,014,000株

② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 359,195株 20年3月期 355,545株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 99,656,216株 20年3月期第1四半期 99,671,003株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(参考)個別業績予想

平成21年3月期の個別業績予想(平成20年4月1日~平成21年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期 累計期間	13,490	(0.7)	2,130	(△26.3)	1,430	(9.4)	14	34
通期	26,780	(0.6)	3,270	(△17.4)	2,080	(△4.9)	20	86

(注) 個別業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 無

個別の業績予想につきましては、第2四半期累計期間、通期ともに平成20年5月15日の公表数値から変更はありません。

定性的情報・財務諸表等

１．連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期の連結経営成績につきましては、連結経常利益は、有価証券利回り上昇による運用益の増加や、株式等売却益の増加等による増益要因があったものの、預金利息増加等による資金調達費用の増加や、貸倒引当金繰入額の増加等によるその他経常費用の増加等により、前年同期比１億94百万円減少の14億44百万円となりました。

連結四半期純利益は、貸倒引当金が繰入になったことによる減益要因と税金費用が減少したことによる増益要因等から、前年同期比２億15百万円減少の９億85百万円となりました。

２．連結財政状態に関する定性的情報

当第１四半期における連結財政状態につきましては、総資産１兆2,429億85百万円（前年度末比70億37百万円減少）、純資産は569億44百万円（前年度末比１百万円減少）となりました。主要科目につきましては、貸出金8,041億40百万円（前年度末比143億31百万円減少）、有価証券3,540億９百万円（前年度末比43億３百万円増加）、預金１兆1,538億29百万円（前年度末比40億52百万円減少）となりました。

３．連結業績予想に関する定性的情報

連結の業績予想につきましては、第２四半期連結累計期間、通期ともに平成20年５月15日の公表数値から変更はありません。

４．その他

（１）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

（２）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

・簡便な会計処理

① 貸倒引当金の計上方法

一般貸倒引当金及び破綻懸念先の個別貸倒引当金については、20年３月期（決算期）に適用した貸倒実績率等をもとに算出しております。

② 税金費用の計算

法人税等につきましては、年度決算と同様の方法により計算しておりますが、納付税額の算出に係る加減算項目及び税額控除項目は、重要性の高い項目に限定して適用しております。

③ 繰延税金資産の回収可能性の判断

繰延税金資産の回収可能性の判断につきましては、一時差異の発生状況について前連結会計年度末から大幅な変動がないと認められるため、同年度末の検討において使用した将来の業績予測及びタックス・プランニングの結果を適用しております。

（３）四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

・会計処理基準に関する事項の変更

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引にかかる方法に準じた会計処理によりおりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号）及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号）を当第１四半期連結会計期間から早期適用し、通常の売買取引に係る会計処理によりしております。この変更により、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
現金預け金	20,991	27,133
コールローン及び買入手形	35,000	30,000
買入金銭債権	116	123
商品有価証券	29	37
金銭の信託	3,257	3,000
有価証券	354,009	349,706
貸出金	804,140	818,471
外国為替	4,002	3,998
その他資産	8,750	4,985
有形固定資産	14,009	13,884
無形固定資産	1,393	1,388
繰延税金資産	6,338	6,208
支払承諾見返	3,660	3,030
貸倒引当金	△12,715	△11,945
資産の部合計	1,242,985	1,250,022
負債の部		
預金	1,153,829	1,157,881
コールマネー及び売渡手形	1,170	1,202
借入金	2,000	2,000
外国為替	2	6
社債	8,000	8,000
その他負債	8,527	11,754
賞与引当金	440	741
役員賞与引当金	8	30
退職給付引当金	5,458	5,474
役員退職慰労引当金	153	191
睡眠預金払戻損失引当金	195	195
偶発損失引当金	85	60
利息返還損失引当金	39	39
再評価に係る繰延税金負債	2,469	2,469
支払承諾	3,660	3,030
負債の部合計	1,186,040	1,193,077
純資産の部		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	8,208	8,208
利益剰余金	36,536	35,850
自己株式	△119	△118
株主資本合計	54,625	53,940
その他有価証券評価差額金	△153	528
土地再評価差額金	2,241	2,241
評価・換算差額等合計	2,088	2,770
少数株主持分	230	234
純資産の部合計	56,944	56,945
負債及び純資産の部合計	1,242,985	1,250,022

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
経常収益	7,746
資金運用収益	5,867
(うち貸出金利息)	4,775
(うち有価証券利息配当金)	1,023
役務取引等収益	616
その他業務収益	38
その他経常収益	1,224
経常費用	6,301
資金調達費用	961
(うち預金利息)	899
役務取引等費用	395
その他業務費用	1
営業経費	3,653
その他経常費用	1,290
経常利益	1,444
特別利益	109
固定資産処分益	15
償却債権取立益	91
その他の特別利益	2
特別損失	37
固定資産処分損	37
税金等調整前四半期純利益	1,516
法人税、住民税及び事業税	506
法人税等調整額	27
少数株主損失(△)	△2
四半期純利益	985

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（4）セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

銀行事業の経常収益、経常利益及び資産の金額は、全セグメントの経常収益の合計、経常利益及び資産の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

在外子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

【国際業務経常収益】

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

国際業務経常収益が、連結経常収益の10%未満のため、国際業務経常収益の記載を省略しております。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
前連結会計年度末残高 （百万円）	10,000	8,208	35,850	△118	53,940
当第1四半期連結会計期間末までの 変動額（累計）					
剰余金の配当			△298		△298
四半期純利益（累計）			985		985
自己株式の取得				△1	△1
当第1四半期連結会計期間末までの 変動額（累計）合計（百万円）	—	—	686	△1	685
当第1四半期連結会計期間末残高 （百万円）	10,000	8,208	36,536	△119	54,625

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第1四半期連結累計期間(平成19年4月1日～6月30日)

(単位:百万円)

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金額
経常収益	6,697
資金運用収益	5,778
(うち貸出金利息)	(4,758)
(うち有価証券利息配当金)	(921)
役務取引等収益	717
その他業務収益	32
その他経常収益	168
経常費用	5,058
資金調達費用	688
(うち預金利息)	(657)
役務取引等費用	422
その他業務費用	15
営業経費	3,664
その他経常費用	266
経常利益	1,638
特別利益	556
特別損失	215
税金等調整前四半期純利益	1,980
法人税、住民税及び事業税	754
少数株主利益	25
四半期純利益	1,200

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 法人税等調整額は「法人税、住民税及び事業税」に含めて表示しております。

(2) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間(自平成19年4月1日 至平成19年6月30日)

銀行事業の経常収益、経常利益及び資産の金額は、全セグメントの経常収益の合計、経常利益及び資産の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間(自平成19年4月1日 至平成19年6月30日)

在外子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

〔国際業務経常収益〕

前第1四半期連結累計期間(自平成19年4月1日 至平成19年6月30日)

国際業務経常収益が、連結経常収益の10%未満のため、国際業務経常収益の記載を省略しております。

6. その他の情報

平成21年3月期 第1四半期決算説明資料

1. 損益状況(単体)

- 業務粗利益は、有価証券利回り上昇による増益要因があったものの、預貸差利益の減少等による資金利益の減少が主因で前年同期比2億15百万円減少し、51億1百万円となりました。
- 業務純益については、一般貸倒引当金繰入額の増加等により、前年同期比3億96百万円減少し、14億19百万円となりました。
- また、経常利益については、株式等売却益等の増益要因がありましたが、不良債権処理額が増加したため、前年同期比1億21百万円減少し、14億52百万円となりました。
- 以上の結果、四半期純利益は、前年同期比1億96百万円減少の9億82百万円となりました。

(単位:百万円)

	平成20年3月期 第1四半期 (A)	平成21年3月期 第1四半期 (B)	増減 (B) - (A)	(参考) 平成21年3月期 第2四半期 累計期間予想
業務粗利益	5,316	5,101	△215	
(除く国債等債券損益)	(5,306)	(5,082)	(△224)	
資金利益	5,045	4,874	△171	
役員取引等利益	271	206	△65	
その他業務利益	△1	20	21	
(うち国債等債券損益)	(9)	(19)	(10)	
経費(除く臨時処理分)	3,500	3,535	35	
人件費	1,985	2,002	17	
物件費	1,369	1,380	11	
税金	146	152	6	
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	1,815	1,566	△249	
(除く国債等債券損益)	(1,805)	(1,546)	(△259)	
一般貸倒引当金繰入額①	—	146	146	
業務純益	1,815	1,419	△396	3,690
臨時損益	△241	32	273	
うち不良債権処理額②	3	791	788	
うち株式等関係損益	△71	685	756	
うち偶発損失引当金繰入額③	—	24	24	
経常利益	1,573	1,452	△121	2,130
特別損益	341	69	△272	
うち貸倒引当金取崩額④	540	—	△540	
税引前四半期純利益	1,915	1,521	△394	
四半期純利益	1,178	982	△196	1,430

(参考)

与信関係費用(①+②+③-④)	△537	962	1,499
-----------------	------	-----	-------

- (注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
 2. 増減欄の計数は、表上の数値による計算結果を表示しております。
 3. 平成21年3月期第2四半期累計期間予想は、平成20年5月15日に公表した数値であり変更はありません。

2. 金融再生法ベースのカテゴリーによる開示

(連結) (参考) (単位: 億円)

	平成19年6月末	平成20年6月末	平成20年3月末 (実績)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	90	115	115
危険債権	168	195	167
要管理債権	42	47	48
債権額合計	301	358	331
不良債権比率	3.69%	4.38%	3.98%

(単体) (参考) (単位: 億円)

	平成19年6月末	平成20年6月末	平成20年3月末 (実績)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	88	112	112
危険債権	168	195	167
要管理債権	42	46	48
債権額合計	298	354	328
不良債権比率	3.67%	4.34%	3.95%

(注) 上記の各第1四半期末の計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権のカテゴリーにより分類しておりますが、集計方法については以下の点につき連結会計年度末に開示する計数とは異なるため、計数は連続しておりません。

- (1) 各第1四半期末の「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」及び「危険債権」の金額は、それぞれ各年3月末時点における債務者区分及び金額をベースとし、各年4月初めから6月末までに倒産、不渡り、経営破綻等の客観的な事実があった債務者について、当行の定める自己査定基準に基づき債務者区分の見直しを行い、債務者区分が下方に変更になったと認められる債務者に対する債権額を新たに加算、又は「危険債権」を減額し「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」を加算し、回収額を減額しております。

※債務者区分との関係 : 破産更生債権及びこれらに準ずる債権 (実質破綻先、破綻先の債権)
危険債権 (破綻懸念先の債権)
要管理債権 (要注意先のうち、利払いが3ヵ月以上延滞しているか、又は貸出条件を緩和している債権)

- (2) 各第1四半期末の「要管理債権」の金額は、同様に、各年3月末時点における金額をベースとし、同年4月初めから6月末の間に正常先、要注意先の債務者に対する債権のうち①新たに3ヵ月以上延滞となった債権②新たに貸出条件を緩和したことを確認している債権を加算し、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」及び「危険債権」に変更になった金額・回収額を減額しております。

3. 自己資本比率（国内基準）

平成20年6月末の自己資本比率[速報値]は、平成20年3月末比、連結では0.20%上昇し、11.61%となりました。単体では0.21%上昇し、11.62%となりました。

また、平成20年9月末の自己資本比率は、平成20年3月末と同水準の連結11.4%程度、単体11.4%程度を見込んでおります。

【連結】

（単位：億円）

	平成20年6月末 [速報値]	平成20年3月末比	平成20年3月末
	(1) 自己資本比率	11.61%	0.20%
うち基本的項目比率（Tier I 比率）	9.11%	0.32%	8.79%
(2) 基本的項目の額（Tier I）	544	8	536
(3) 補完的項目の額（Tier II）	158	△1	159
(4) 控除項目	8	8	—
(5) 自己資本の額（2）＋（3）－（4）	694	△1	695
(6) リスク・アセット	5,978	△117	6,095
(7) 総所要自己資本額（6）×4%	239	△4	243

【単体】

（単位：億円）

	平成20年6月末 [速報値]	平成20年3月末比	平成20年3月末
	(1) 自己資本比率	11.62%	0.21%
うち基本的項目比率（Tier I 比率）	9.11%	0.32%	8.79%
(2) 基本的項目の額（Tier I）	543	9	534
(3) 補完的項目の額（Tier II）	158	△1	159
(4) 控除項目	8	8	—
(5) 自己資本の額（2）＋（3）－（4）	692	△1	693
(6) リスク・アセット	5,960	△117	6,077
(7) 総所要自己資本額（6）×4%	238	△5	243

	平成20年9月末 (予想値)	平成20年3月末 (実績)
連結自己資本比率	11.4%程度	11.41%
連結Tier I 比率	8.7%程度	8.79%
単体自己資本比率	11.4%程度	11.41%
単体Tier I 比率	8.7%程度	8.79%

（注） 上記の予想値は、経営環境に関する前提条件の変化等に伴い変動することがあります。

4. 時価のある有価証券の評価差額（連結）

○ 評価差額

	(単位：億円)				(参考) (単位：億円)							
	平成19年6月末		平成20年6月末		平成20年3月末 (実績)							
	時価	評価差額		時価	評価差額		時価	評価差額				
うち益		うち損	うち益		うち損	うち益		うち損				
その他有価証券	3,432	124	146	22	3,273	△1	51	52	3,229	6	52	46
株式	102	49	51	1	73	23	25	2	67	17	20	3
債券	2,875	△16	2	18	2,780	△22	8	30	2,749	△3	16	19
その他	454	90	92	2	418	△2	17	19	412	△7	15	23

(注) 1. 「評価差額」及び「含み損益」は帳簿価格（償却原価法適用後、減損処理後）と時価との差額を計上しております。

2. 有価証券のほか、買入金銭債権中の信託受益権を含めております。

3. なお、満期保有目的の債券に係る含み損益は以下のとおりであります。子会社・関連会社株式は該当がないため記載しておりません。

	(単位：億円)				(参考) (単位：億円)							
	平成19年6月末		平成20年6月末		平成20年3月末 (実績)							
	帳簿 価格	含み損益		帳簿 価格	含み損益		帳簿 価格	含み損益				
うち益		うち損	うち益		うち損	うち益		うち損				
満期保有目的の 債券	230	△3	0	3	183	△13	0	13	183	△15	0	15

5. デリバティブ取引（連結）

デリバティブ取引に関する注記事項については、第1四半期決算短信における開示の必要性が大きいと考えられるため開示を省略しております。

6. 預金、貸出金の残高(単体)

	(単位:億円)		(参考) (単位:億円)
	平成19年6月末	平成20年6月末	平成20年3月末 (実績)
預金(未残)	11,488	11,538	11,579
うち県内預金	10,195	10,209	10,247
うち個人預金	8,506	8,744	8,658
貸出金(未残)	7,997	8,042	8,185
うち県内貸出金	6,493	6,522	6,621
うち個人ローン	2,481	2,539	2,542

7. 預り資産(未残)の状況(単体)

	(単位:億円)		(参考) (単位:億円)
	平成19年6月末	平成20年6月末	平成20年3月末 (実績)
預り資産	1,143	1,178	1,146
投資信託	559	510	486
公共債	453	498	490
保険	120	143	142
外貨預金	11	25	26

以 上